

飛騨市学園構想

SUPER COMMUNITY SCHOOL



58

みんなが育て みんなが育つ 魅力あるまち

12月6日、古川町コミュニティセンターで、「第3回飛騨市探究フェス」を開催しました。今年度のテーマは、「見て、聞いて、感じて、みんなの“夢中”があふれる1日」。市内の子どもから大人までが、日頃取り組んでいる学びやチャレンジを持ち寄る学びの祭典として、当日は幅広い世代の方にご参加いただき、会場全体がワクワクとした



探究の成果を堂々と発表する子どもたち

学ぶ楽しさ共有!「飛騨市探究フェス」を開催!

熱気に包まれました。

◆多様な形で探究の成果を披露

会場では、プレゼン発表をはじめ、展示ブース、出店ブース、体験ブースなど、さまざまな形で探究活動の成果が披露されました。メインステージでの探究実践発表には、過去最多となる12チームが参加。市内の小学生・中学生・高校生に加え、地域で活動する大人のチームも登壇し、それぞれの「夢中」が伝わる発表が行われました。

都竹市長による講評では、「探究のレベルが年々高まっている」「実践を伝えたいという思いが強く感じられ



大人気の「探Qラーメン」を笑顔で味わう来場者

る素晴らしい発表だった」との言葉が伝えられました。

◆広がる学ぶ楽しさ

今回は「飛騨市民力レッジ」ともコラボし、出張講座を開講。来場者が体験を通して学ぶ楽しさに触れる姿が多く見られました。探究に取り組む人の輪が着実に広がるとともに、飛騨市で育つ子どもたちにつけたい力が、確かに育っていることを実感しました。

今後も「探究フェス」が、夢中になれる学びを地域で共有し、学ぶ楽しさがさらに広がっていくきっかけとなることを願っています。

情報発信

ホームページ Facebook



問 学校教育課

TEL 0577-73-7494



私たちが日常生活で手軽に取り組める温暖化対策の一つが「エコドライブ」です。特に車社会の飛騨市においてその効果は小さくありません。まず、**発進時には急加速を避け、優しく踏み込む「ふんわりアクセル」**を意識しましょう。また、**車間距離を十分に取ることでムダな加速・減速を減らし、一定速度での走行を心がける**ことが大切です。これだけで**燃費が改善し、CO₂排出量を大幅に削減**できます。

さらに、停車時の**アイドリングストップを徹底**したり、**車から不要な荷物を降ろす**ことも有効です。一人ひとりが運転を見直すことで燃料の消費が抑えられ、豊かで美しい飛騨の自然を守ることやゼロカーボン社会の実現へと確実につながっていきます。

エコドライブを実施することで…



0.34 kg-CO₂e/日を削減

環境省「デコ活データベースv1.1」をもとに作成

毎日の運転をエコにすることで、ゼロカーボンにさらに近づくことができます!

問 環境課 TEL 0577-73-7482

まぬか

不妊治療について
理解を深めましょう

日本産科婦人科学会では、生殖年齢の男女が、避妊せず定期的に性生活を送っているにもかかわらず、1年以上妊娠に至らない場合を、「不妊症」としています。

不妊にはさまざまな原因がありますが、加齢もその1つです。近年では晩婚化が進み、男女ともに子どもを望む年齢が高くなっていることもあります。不妊で悩むカップルが増えています。日本では、4.4組に1組が不妊に悩んでいると言われています。実は、不妊はとても身近なことであり、

みんなで理解しておくことが大切です。

妊娠を希望されており心配になつた場合には、早めに検査・治療を受けること、そして正しい知識を持ちましょう。

また、不妊治療のハードルを高くする理由のひとつに、仕事との両立の難しさがあります。周囲が理解しサポートすることも必要です。

不妊治療の種類は、「一般不妊治療」と「生殖補助医療(特定不妊治療)」に大きく分けることができます。

「一般不妊治療」とは、タイミング法や人工授精などの治療、「生殖補助医療(特定不妊治療)」は、体外受精・顎微授精の治療を指します。

通常、一般不妊治療を一定期間行い妊娠に至らない場合、カップルの年齢やライフスタイルなどを考慮しながら、生殖補助医療に移っていき

ます。

治療は子どもを望むカップルにとって大切な選択肢となります。金額的な負担や遠方の医療機関への通院など負担も大きくなっています。

2022年4月から、不妊治療は保険適用となりました。また県・市では特定不妊治療費助成(生殖補助医療対象)・不育症治療費助成をおこなっています。市では一般不妊治療費助成、また特定不妊治療・不育症治療で遠方の医療機関に通院が必要となる場合に、通院費の助成も行っています。

これから治療を開始したいという方は、助成についてお話しさせていただきますので、1度保健センターへご相談ください。

問 保健センター

TEL 0577-73-2948



そろそろ
終活
はじめませんか?

円満な相続のために

相続に関して、自宅で思い立った時の手軽さで、自筆での遺言書を作っている人も多いのではないかでしょうか。

しかし、手軽であるがゆえに法的に不備であったり、解釈のズレが生まれやすいこともあります。

例えば、よくある自筆での遺言書のミスとして「日付の書き方」です。「令和8年1月吉日」は無効となります。「令和8年1月1日」と正確な年月日を明記します。

また、財産や受取人の特定が曖昧

で、「長男に家を相続させる」といった記述では不明確であり、家の住所や登記情報、長男の氏名などが明記されていることが必要です。

国では、デジタル遺言書の導入を検討していますが、現時点では、自筆での遺言書作成は本人の手書きが原則となり、パソコンなどでつくられたものは無効です。

「財産が少ないから大丈夫」「何となく伝えているから安心」と思い込んでいた家庭ほど小さな誤解や不満が大きな対立に発展することもあります。



ます。

「兄は大学への費用を出してもらった」「弟は家を買う時に援助してもらった」「私は両親の介護を一人で行ってきた」など、家族であってもそれぞれの思いが行き違ったままでは、不信感への火種となってしまうものです。

相続は、思っている以上に「感情」が関わるもの。だからこそ少しでも早い段階で情報を整理し、家族みんなで話し合っておくことが大切です。

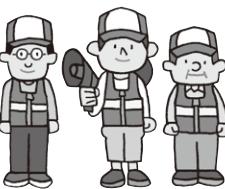
終活セミナー
そろそろ終活しませんか

■ 2月27日(金) 13:30 ~ 15:00
■ 神岡町コミュニティセンター

お申し込みは下記まで

問 飛騨市終活支援センター
(飛騨市社会福祉協議会内)
TEL 0577-73-3214

飛騨の防災



昨年10月26日、地域支援部と研修企画部合同で、防災士のスキルアップ研修を行いました。23名が参加し、過去に災害が起きた市内の現場5箇所を視察。今回は、その研修内容をお伝えします。



危機管理課の職員が講師に

まず、ハートピア古川でマンホールトイレや防災備蓄倉庫についての話を聞きました。その後、過去に起きた災害現場まで車で移動しながら研修をしました。



この日は天気が悪く、雨が強くなったり弱くなったりしていました。宮川の増水した渦流を見ながら、リアルな怖さを感じました。

今回の視察研修を通じて、災害の恐ろしさを改めて実感することができ、こうして学んだことを市民皆さんに伝える役目があると感じています。

地元に住むからこそ、その土地の特性や過去の災害を理解することは、災害の予測や対策に役立てられます。

飛騨市防災士会として、これからも防災について発信していきます。

防災普及部企画の「防災タウンウォッチング」では、たくさんの子どもたちが参加をしてくれました。

今年度は古川西小学校校区(谷区・袈裟丸区)をまわりました。

それぞれの学校で学んだ防災の知識を堂々と話す子がたくさん！日頃の防災教育の大切さを改めて感じました。



岐阜県広報



岐阜県からのお知らせ



情報ボックス



IAMAS2026修了研究発表会を開催します

3月にIAMASを修了する第24期生が制作した作品の展示・発表を行います。

- とき／2月20日(金)～23日(月・祝)
- 時間／10:00～18:00(20日のみ13:00～)
- ところ／ソフトピアジャパン(大垣市)
- 申込方法／申込不要
- 問／情報科学芸術大学院大学 教務課 ☎0584(75)6641



岐阜県保育士試験対策講座のご案内

保育士を目指す方を対象とする「令和8年前期保育士試験対策講座」の受講者を募集します。

- 視聴期間／2月18日(水)～3月30日(月)
- ところ／オンライン
- 定員・受講料／250人(先着順)・無料
- 申込方法／Webサイトをご確認ください
- 申込期間／2月11日(水)～3月23日(月)
- 申込先・問／株式会社東京リーガルマインド福祉支援本部 ☎03(5913)6225

点字版・音声版をご希望の方は、県庁広報課へご連絡ください
音声版には、CD(デイジー編集)での提供と音声用のテキストデータの配信もあります
この情報は令和7年12月26日現在のものです。
この紙面に関するお問い合わせは、県庁広報課まで ☎058(272)1111(代) FAX 058(278)2506

アイコン説明



「技能作品展2026」の開催

令和7年度に入校した訓練生21名による技能作品展を開催します。習得した技能を生かして自分たちで設計・製作した木工作品を展示・販売します。

- とき／2月28日(土)、3月1日(日)
- ところ／木工芸術スクール(高山市)
- 入場料／無料(事前予約不要)
- 問／木工芸術スクール ☎0577(32)1143



パブリックコメントを実施します

- 案件名／令和8年度岐阜県食品衛生監視指導計画(案)
- 募集期間／1月16日(金)～2月16日(月)
- 閲覧／県ウェブサイト・県庁1階情報公開・行政相談窓口前・県生活衛生課及び県保健所
- 提出先・問／県生活衛生課
☎058(272)8280/FAX 058(278)2627
メール:c11222@pref.gifu.lg.jp

岐阜県食品衛生監視指導計画

検索